

# 2017年3月期 第3四半期決算説明会



**スズキ株式会社**  
2017.2.6

## 第3四半期実績

- **連結業績 … 減収増益、各利益過去最高※1**
  - ・売上高 2兆2,520億円、前年同期比▲ 4.4% 5期振り減収
  - ・営業利益 1,674億円、前年同期比+14.4% } 5期連続増益
  - ・経常利益 1,802億円、前年同期比+10.7% }
  - ・四半期純利益※2 1,334億円、前年同期比+30.4% 2期連続増益
- **四輪世界販売 … 2,124千台で過去最高※1**
  - ・日本、中国、インドネシア、パキスタンで減少したものの、インド、欧州等で増加
- **二輪世界販売 … 1,009千台（前年同期比▲11.9%）**
  - ・インド、フィリピンで増加したものの、中国、インドネシア、北米等で減少

## 通期業績予想

- **今後の為替見通し等が不透明なため、業績予想、台数予想とも前回予想を据置き**

※1. 第3四半期累計期間として過去最高 ※2. 四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

## 減収増益・各利益過去最高

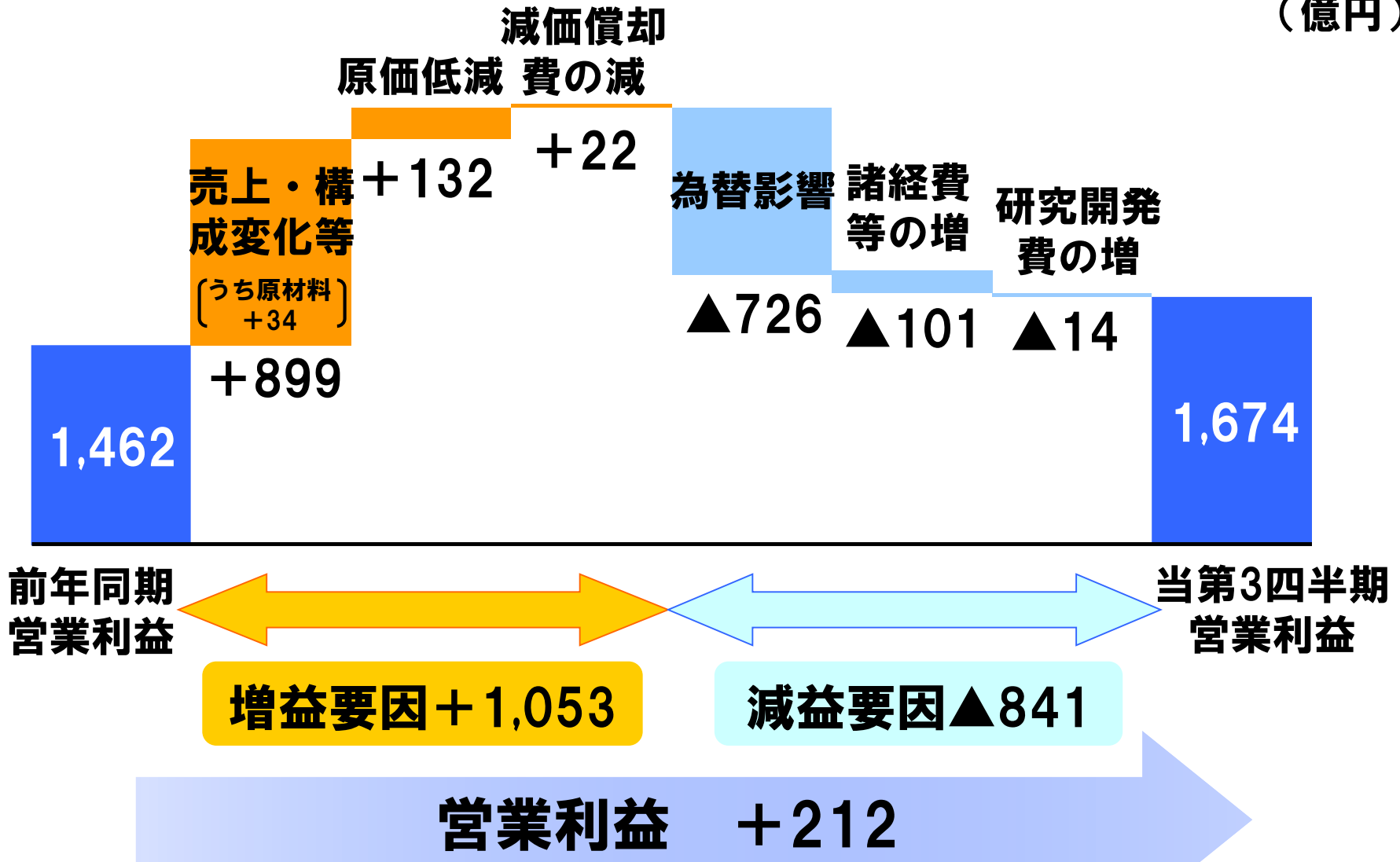
(億円)	当第3四半期 (’16/4-12)	前年同期 (’15/4-12)	増 減	
			増	減 増減率
売上高	22,520	23,556	▲1,036	▲4.4%
国内売上	7,253	7,535	▲282	▲3.8%
自 社	6,630	6,770	▲140	▲2.1%
O E M	623	765	▲142	▲18.6%
海外売上	15,267	16,021	▲754	▲4.7%
営業利益 (利益率)	1,674 (7.4%)	1,462 (6.2%)	+212	+14.4%
経常利益 (利益率)	1,802 (8.0%)	1,628 (6.9%)	+174	+10.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (利益率)	1,334 (5.9%)	1,023 (4.3%)	+311	+30.4%

## 国内販売減、為替影響等により減収

(億円)	四 輪			二 輪			特機等			合 計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	6,990	7,255	▲265	146	160	▲14	117	120	▲3	7,253	7,535	▲282	
自 社	6,367	6,490	▲123	146	160	▲14	117	120	▲3	6,630	6,770	▲140	
OEM	623	765	▲142							623	765	▲142	
海外計	13,601	14,052	▲451	1,286	1,569	▲283	380	400	▲20	15,267	16,021	▲754	▲2,525
欧 州	2,643	2,517	+126	245	312	▲67	96	111	▲15	2,984	2,940	+44	▲496
北 米	17	34	▲17	165	245	▲80	178	181	▲3	360	460	▲100	▲51
アジア	9,366	9,826	▲460	617	689	▲72	37	34	+3	10,020	10,549	▲529	▲1,727
インド	7,085	7,166	▲81	222	241	▲19	2	2	+0	7,309	7,409	▲100	▲1,303
"以外	2,281	2,660	▲379	395	448	▲53	35	32	+3	2,711	3,140	▲429	▲424
その他	1,575	1,675	▲100	259	323	▲64	69	74	▲5	1,903	2,072	▲169	▲251
総合計	20,591	21,307	▲716	1,432	1,729	▲297	497	520	▲23	22,520	23,556	▲1,036	▲2,525
内、為替 換算影響			▲2,283			▲200			▲42			▲2,525	

注. 当期…2016年4～12月期、前期…2015年4～12月期、北米…米国・カナダ、北米四輪…補給部品・サービス売上高等

(億円)



	当第3四半期 (’16/4-12)	前年同期 (’15/4-12)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	107円	122円	▲15円	▲57億円
ユーロ	118円	134円	▲16円	▲115億円
インドルピー	1.60円	1.90円	▲0.30円	▲287億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.81円	0.90円	▲0.09円	▲21億円
タイバーツ	3.03円	3.51円	▲0.48円	+34億円
その他	—	—	—	▲280億円 ※
計				▲726億円

※ポンド▲111億円、メキシコペソ▲50億円、パキスタンルピー▲38億円、豪ドル▲26億円、他

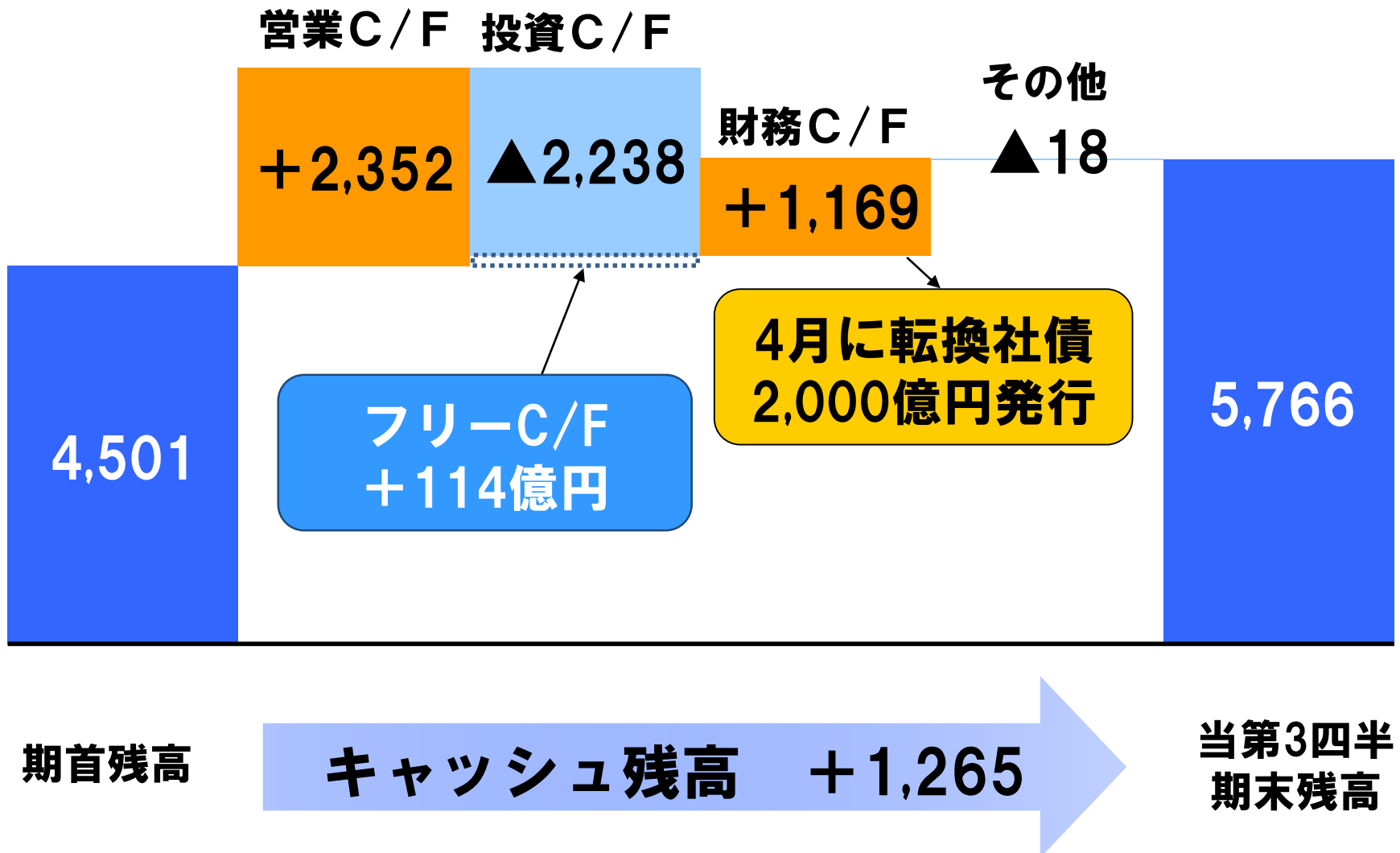
# 連結：設備投資、減価償却費、 研究開発費、及び有利子負債残高

(億円)

	当第3四半期 ( '16/4-12 )	前年同期 ( '15/4-12 )	増 減
(当社単独)	427	448	▲21
(子会社)	940	712	+228
設備投資	1,367	1,160	+207
減価償却費	1,171	1,193	▲22
研究開発費	976	962	+14

	当第3四半期末	前年同期末		前期末	
	( '16/12末 )	( '15/12末 )	増 減	( '16/3末 )	増 減
有利子負債残高	6,703	5,900	+803	5,293	+1,410

(億円)





# 連結：事業別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

## 《四輪》

### 売上高

▲716 (▲3.4%)  
21,307 20,591

前年同期

当第3四半期

### 営業利益

+157 (+10.7%)  
1,464 1,621

前年同期

当第3四半期

前年同期 当第3四半期  
'15/4-12 '16/4-12

## 《二輪》

### 売上高

▲297 (▲17.2%)  
1,729 1,432

1,432

### 営業利益

+65 (赤字縮小)  
▲101 ▲36

前年同期 当第3四半期  
'15/4-12 '16/4-12

## 《特機等》

### 売上高

▲23 (▲4.5%)  
520 497

### 営業利益

▲10 (▲10.1%)  
99 89

前年同期 当第3四半期  
'15/4-12 '16/4-12

# 連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

売上高

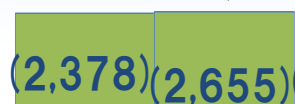


《日本》

売上高

▲10 (▲0.1%)

13,264 13,254



三国間取引  
を除く売上高

10,886 10,599

営業利益

+15 (+2.5%)

598 613

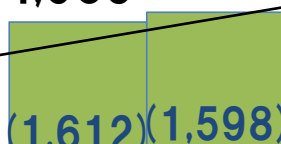
前年同期 当第3四半期  
'15/4-12 '16/4-12

《欧州》

売上高

+20 (+0.5%)

4,063 4,083



営業利益

+42 (+66.7%)

63 105

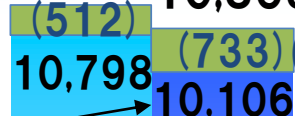
前年同期 当第3四半期  
'15/4-12 '16/4-12

《アジア》

売上高

▲471 (▲4.2%)

11,310 10,839



営業利益

+92 (+11.2%)

823 915

前年同期 当第3四半期  
'15/4-12 '16/4-12

《その他》

売上高

▲134 (▲12.0%)

1,123 989

営業利益

+14 (+132.3%)

11 25

前年同期 当第3四半期  
'15/4-12 '16/4-12

営業利益

前年同期

当第3四半期

	当第3四半期末	前年同期末		前期末	
	('16/12末)	('15/12末)	増減	('16/3末)	増減
連結 子会社数	136社	135社	+1社	136社	±0社
持分法適用 関連会社数	32社	34社	▲2社	33社	▲1社
従業員数	62,652人	58,390人	+4,262人	61,601人	+1,051人

## 連結業績予想は前回予想を据置き

(億円)		今回 通期予想	前期比較		前回予想比較	
			前期実績	増減	前回予想	増減
連結業績	売上高	31,000	31,807	▲807	31,000	—
	営業利益	2,000	1,953	+47	2,000	—
	経常利益	2,100	2,091	+9	2,100	—
	親会社株主に帰属 する当期純利益	1,450	1,167	+283	1,450	—
増減要因	売上・構成変化等	+977	+586		+1,077	▲100
	原価低減	+240	+246		+240	—
	為替影響	▲810	▲29		▲860	+50
	諸経費等の増	▲250	▲254		▲300	+50
	研究開発費の増	▲90	▲51		▲90	—
	減価償却費の増	▲20	▲339		▲20	—
	計	+47	+159		+47	—
	設備投資	2,200	1,715	+485	2,200	—
	減価償却費	1,700	1,683	+17	1,700	—
	研究開発費	1,400	1,310	+90	1,400	—

# 連結：通期業績予想 (為替レート前提)

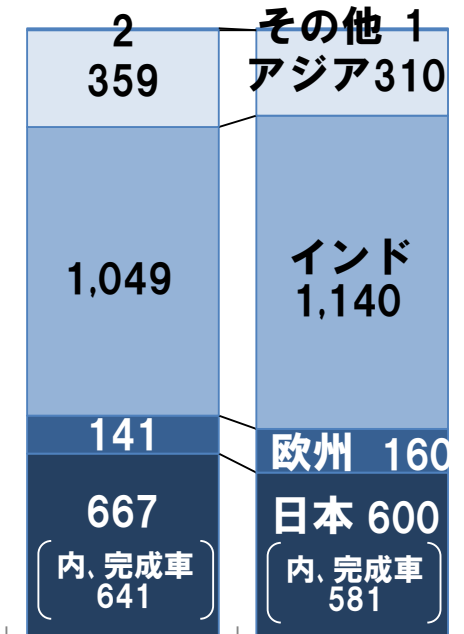
	今回予想 (2016.4~2017.3)			為替影響	前期比較 (2015.4~2016.3)		前回予想比較 (2016.4~2017.3)	
	4-12月 実績	1-3月 予想	通期 予想		通期 実績	増減	通期 予想	増減
米ドル	107円	105円	106円	▲76億円	120円	▲14円	104円	+2円
ユーロ	118円	113円	117円	▲138億円	133円	▲16円	116円	+1円
インド ルピー	1.60円	1.56円	1.59円	▲305億円	1.85円	▲0.26円	1.58円	+0.01円
インドネシア ルピア※	0.81円	0.79円	0.80円	▲25億円	0.89円	▲0.09円	0.80円	-
タイ バーツ	3.03円	2.99円	3.02円	+47億円	3.44円	▲0.42円	2.98円	+0.04円
その他通貨				▲313億円				
為替影響額 計				▲810億円				

※インドネシアルピアは100ルピア当りのレート

## 世界生産は前年同期比▲0.3%

《4～12月比較》  
▲6千台（▲0.3%）

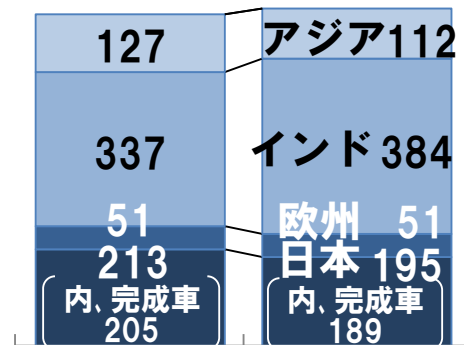
2,218 2,212



《内、10～12月比較》  
+13千台（+1.7%）

（千台）

729 742



前年同期 '15/4-12 当第3四半期 '16/4-12

前年同期 '15/10-12 当第3四半期 '16/10-12

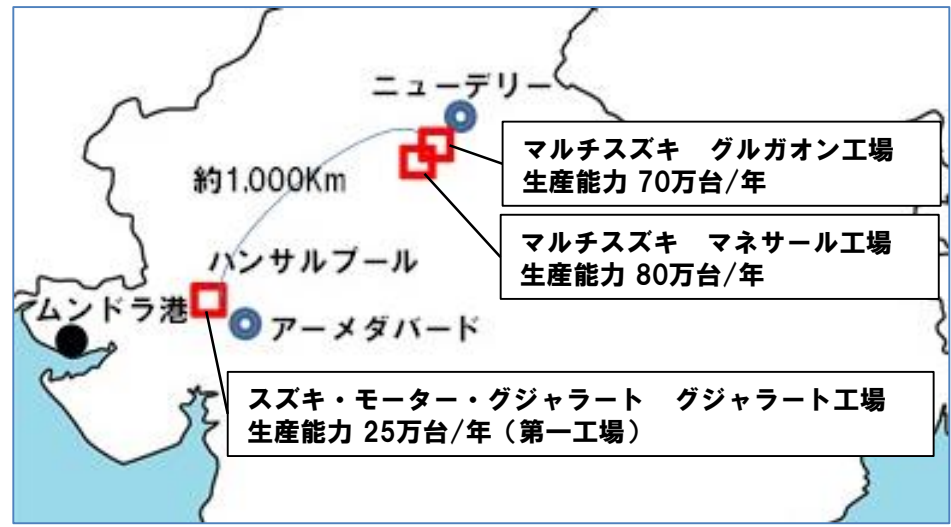
### ●4～12月の生産状況

- ・インド（前年同期比+8.7%）、欧州（同+13.4%）で増加
- ・一方、日本（同▲10.0%）、中国（同▲8.6%）、インドネシア（同▲16.7%）等で減少
- ・世界生産全体では、前年同期比▲0.3%



## 2月1日より「バレーノ」量産開始

- スズキ・モーター・グジャラート社は2014年3月設立のスズキ100%子会社
- ムンドラ港に近く、海外への輸出基地として活用
- マルチスズキ社とは別の生産会社とすることでお互いに切磋琢磨
- 販売状況を見ながら生産車種を拡充、最終的には年間生産能力25万台へ
- さらに、2019年初めの稼働を目指して、グジャラート第二工場とエンジン・トランスミッション工場の建設も計画
- 第二工場完成時にはインドの生産能力は200万台となる見込み

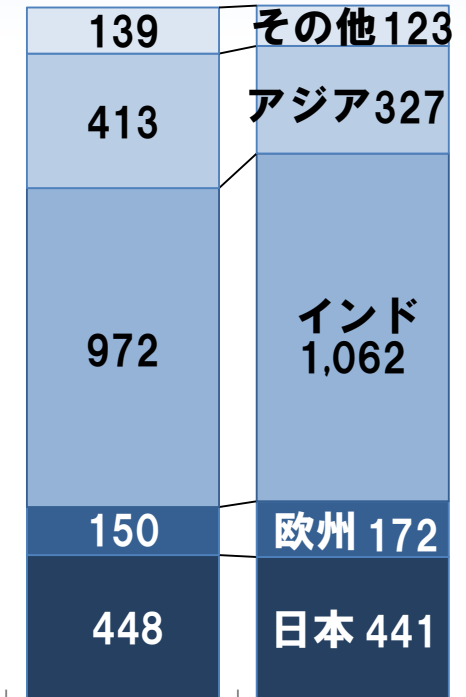


## 4～12月の世界販売は過去最高を更新

### 《4～12月比較》

+2千台 (+0.1%)

2,122 2,124

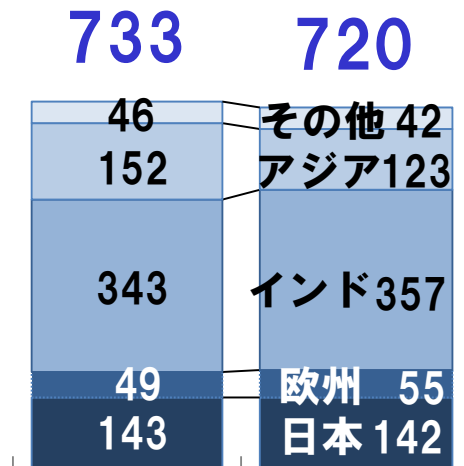


前年同期 '15/4-12 当第3四半期 '16/4-12

### 《内、10～12月比較》

▲14千台 (▲1.8%)

(千台)



前年同期 '15/10-12 当第3四半期 '16/10-12

### ●4～12月世界販売

- ・日本、中国、インドネシア、パキスタンで減少したが、インド、欧州等での増加により、前年同期比+0.1%

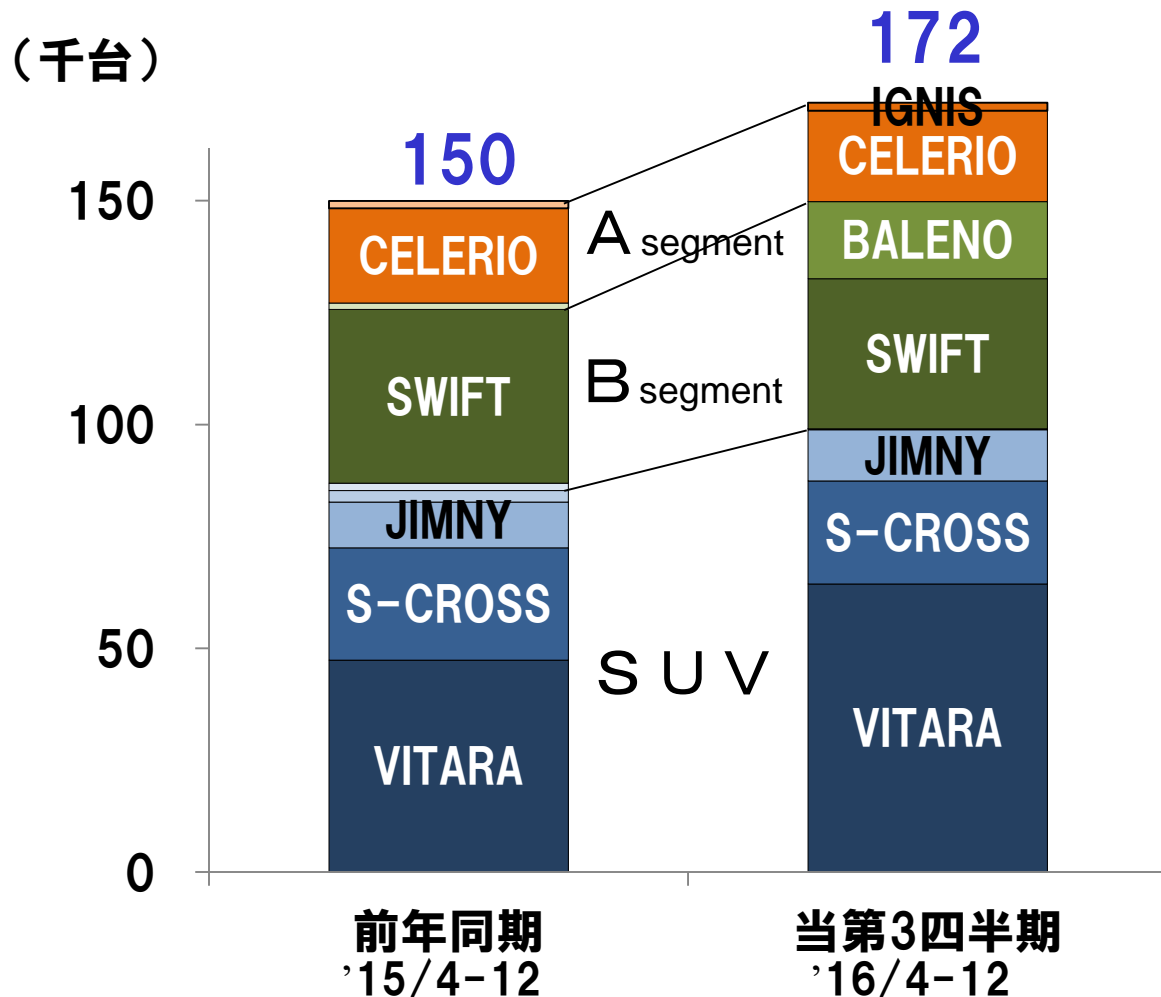
### ●スズキ、南アフリカで Brand of the Year 受賞

- ・SUZUKI …Brand of the Year
- ・VITARA …Compact Family Car of the Year
- ・CELERIO…Budget Car of the Year





## 「ビターラ」、「バレーノ」販売増によりミックス改善



販売価格：9,690～11,590ユーロ



販売価格：13,790～19,490ユーロ



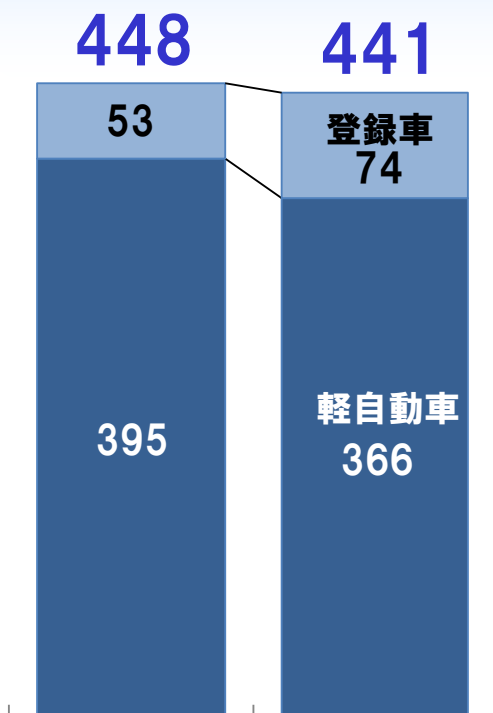
販売価格：17,990～27,090ユーロ

※4～12月欧州末端販売、販売価格はドイツでの価格

## 軽自動車の販売減により前年同期比▲1.6%

《4～12月比較》

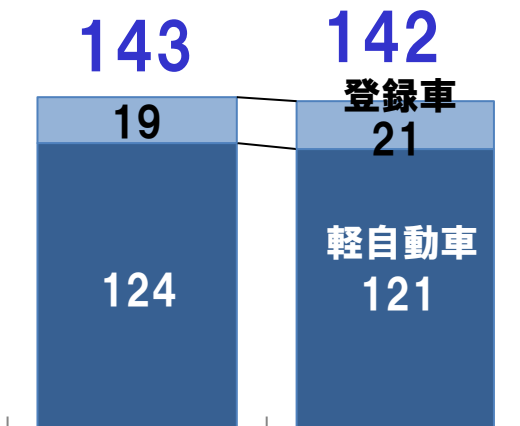
▲7千台 (▲1.6%)



《内、10～12月比較》

▲1千台 (▲1.0%)

(千台)



### ●4～12月国内販売

- 軽自動車は前年同期比▲7.2%
  - 登録車は前年同期比+39.8%
- 暦年(1～12月)で10万台達成

### ●トピックス

- 「ソリオ」、「ソリオバンディット」に新開発ハイブリッド追加(11月)



- 「アルト」国内累計販売500万台達成(12月)



- 「スペーシア」一部改良  
「カスタムZ」設定(12月)



前年同期 '15/4-12      当第3四半期 '16/4-12

前年同期 '15/10-12      当第3四半期 '16/10-12

## 1月「スイフト」、2月「ワゴンR」新発売

### スイフト

- 小型乗用車「スイフト」を全面改良し、1月4日より日本国内で発売開始
- スズキブランドを牽引するグローバルコンパクトカー
- 今後、輸出をはじめ、海外での生産・販売を計画



### ワゴンR

- 軽乗用車「ワゴンR」、「ワゴンRスティングレー」を、全面改良し、2月1日から発売開始
- 軽ワゴンという市場を新たに築いた軽自動車を代表するモデル
- 低燃費、先進安全機能、広く使いやすい室内空間



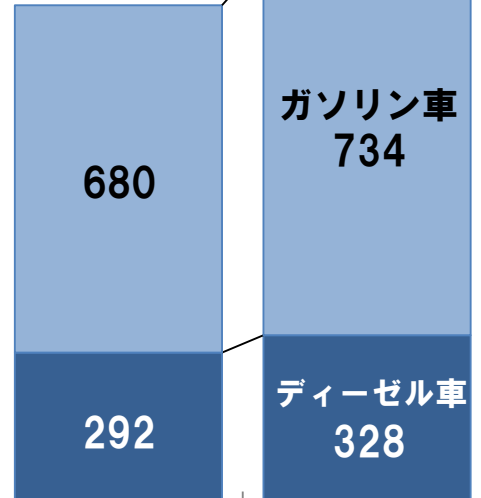
## 4～12月販売は過去最高を更新

《4～12月比較》  
+90千台（+9.3%）

ディーゼル車割合

30%      31%

972      1,062



前年同期 '15/4-12      当第3四半期 '16/4-12

《内、10～12月比較》  
+14千台（+3.9%）

ディーゼル車割合

31%      30%

（千台）

343      357



前年同期 '15/10-12      当第3四半期 '16/10-12

### ●4～12月インド販売

- ・4～12月販売は、前年同期比+9.3%
- ・10～12月販売は高額紙幣廃止問題の影響があったものの、前年同期比+3.9%と伸長

### ●トピックス

- ・グジャラート州への職業訓練校設立を決定（11月）（日印両政府の「ものづくり技能移転推進プログラム」に協力）
- ・「ビターラ ブレッツァ」が、インドカー・オブ・ザ・イヤー受賞



- ・1月よりネクサ店で新型「イグニス」発売開始

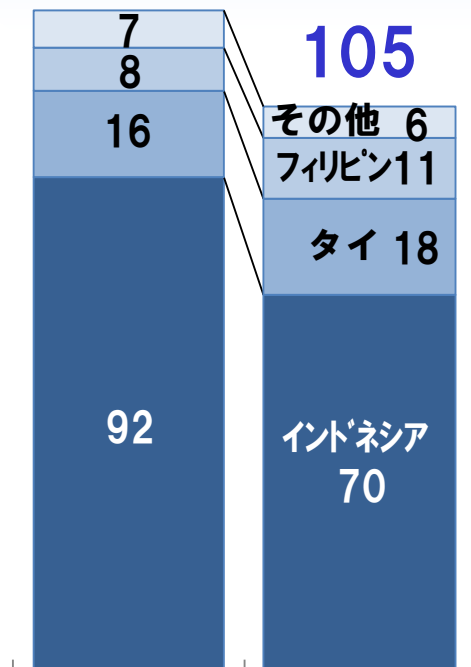


## インドネシアの販売減等により前年同期比▲14.7%

《4～12月比較》

▲18千台（▲14.7%）

123

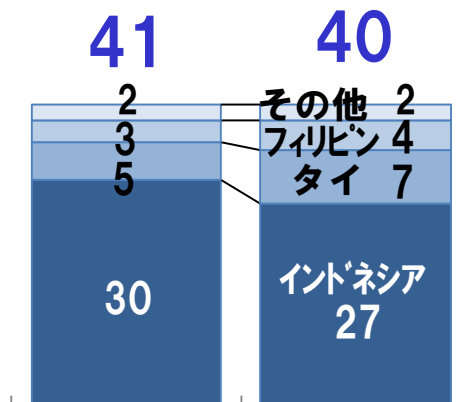


前年同期 '15/4-12 当第3四半期 '16/4-12

《内、10～12月比較》

▲1千台（▲1.9%）

（千台）



前年同期 '15/10-12 当第3四半期 '16/10-12

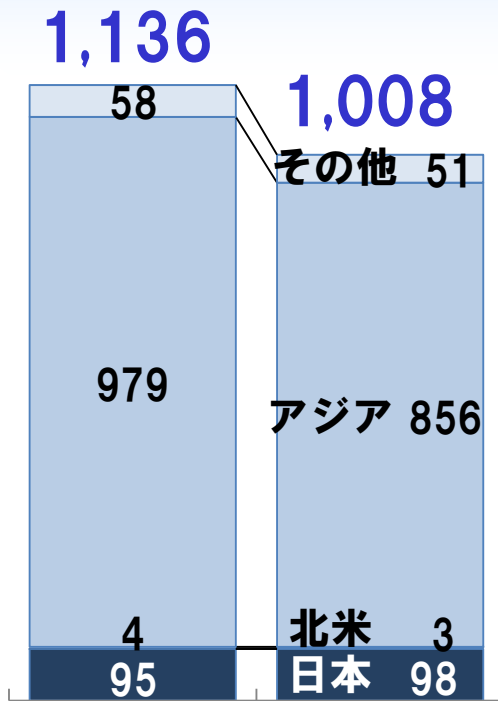
### ●4～12月アセアン販売

- ・インドネシアは商用車減により、前年同期比▲23.9%
- ・タイは「シアズ」の増加により、前年同期比+9.0%
- ・フィリピンは「セレリオ」、「エルティガ」等が増加し、前年同期比+38.8%と大幅伸長
- ・インドネシア、タイは、国内の拡販とともに、輸出強化により、工場稼働率向上を目指す

## 生産・販売ともに前年同期を下回る

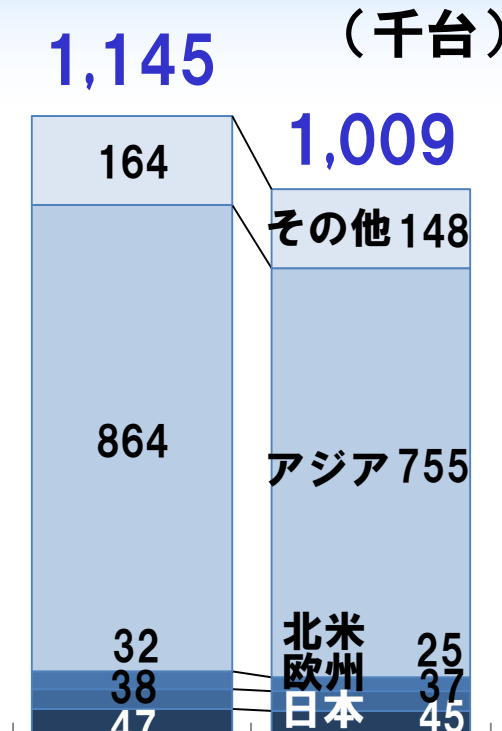
### 《4～12月生産》

▲128千台 (▲11.2%)



### 《4～12月販売》

▲136千台 (▲11.9%)

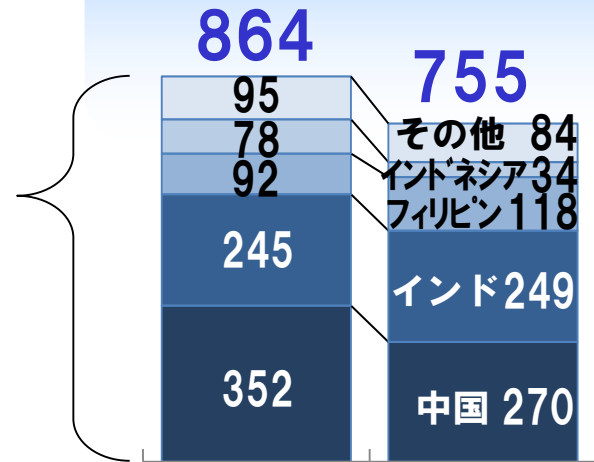


### ●4～12月二輪実績

- 中国、インドネシアなどアジアでの販売減少により、生産で▲128千台、販売で▲136千台

### 《アジアの内訳》

▲109千台 (▲12.6%)



前年同期 '15/4-12 当第3四半期 '16/4-12

前年同期 '15/4-12 当第3四半期 '16/4-12

前年同期 '15/4-12 当第3四半期 '16/4-12

## 前回予想を据置き

(千台)	通期生産台数				通期販売台数			
	予想 (16年度)	前期実績			予想 (16年度)	前期実績		
		(15年度)	増減	増減率		(15年度)	増減	増減率
<b>&lt;四輪車&gt;</b>								
日本	874	861	+13	+1.5%	635	630	+5	+0.8%
欧州	205	193	+12	+6.3%	232	207	+25	+12.2%
アジア	1,980	1,896	+84	+4.5%	1,842	1,842	+0	+0.0%
その他	2	2	+0	+0.1%	164	183	▲19	▲10.2%
合計	3,061	2,951	+110	+3.7%	2,873	2,861	+12	+0.4%
<b>&lt;二輪車&gt;</b>								
日本	142	122	+20	+16.1%	63	61	+2	+3.2%
欧州	—	—	—	—	47	48	▲1	▲1.8%
北米	4	4	▲0	▲9.9%	36	46	▲10	▲20.9%
アジア	1,141	1,279	▲138	▲10.8%	1,019	1,126	▲107	▲9.5%
その他	65	74	▲9	▲12.0%	191	216	▲25	▲11.4%
合計	1,352	1,480	▲128	▲8.6%	1,356	1,496	▲140	▲9.4%

# 2017年3月期 第3四半期決算説明会



# スズキ株式会社



## 将来予想に関する注意事項

※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。